

ユアサ製作所

木材グラップルの本格販売へ

スウェーデン鋼で高強度・軽量化

建設機械の製造・販売等を手掛けるユアサ製作所(岡山市、湯浅亨社長、☎086・480・1250)は、木材グラップル「YS GRAPPLE」の本格販売に乗り出す。木材をつかんで運搬するためのアタッチメントで、重機に取り付けて使う。丸太などの木材をつかみやすい形状で、ホールド力を高め、素材にスウェーデン鋼を使用し、高い強度、軽量化を実現した。林業関連企業をはじめ、木

質バイオマス関連事業者などを対象に提案を進める。スウェーデン鋼は、スウェーデンの鉄鉱石から生産される鋼の総称。高強度・高硬度に加え、軽量、サビに強いという特長を持つ。耐摩耗性は普通鋼の5倍以上あるとされる。

同製品はこのスウェーデン鋼を使い、従来約20キログラムの軽量化を実現。本体である重機を安定させることで、作業の安全性を向上

する。また、高強度で耐摩耗性があるため耐用年数を長くさせ、ラウンドできる。開口は最大1450ミリとなつている。

基本仕様は、重機本体のクラス目安として6〜8トンを想定する。全長1090ミリ、フオーク幅405ミリ、最小つかみ径110ミリ、重量482キログラムと

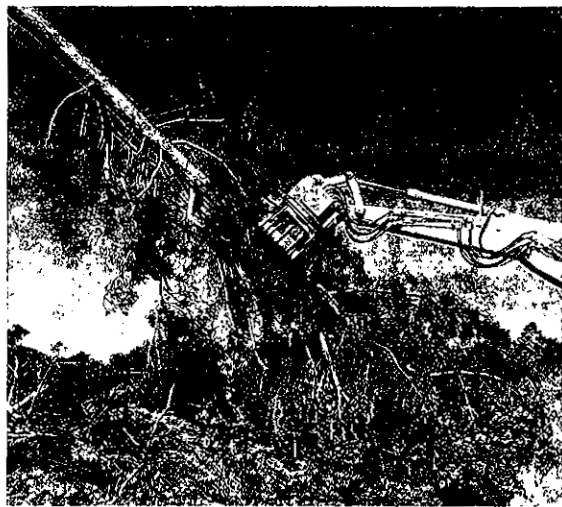
「YS GRAPPLE」は、高強度・高硬度に加え、軽量、サビに強いという特長を持つ。耐摩耗性は普通鋼の5倍以上あるとされる。

特に間伐作業での集材や運材、木材置き場での運搬作業に適している。爪部分が湾曲しており、丸太を強くホ

ルドできる。開口は最大1450ミリとなつている。

貸出も検討しており、1週間程度の試用も可能だ。今後、重機本体10〜12トクラスの開発も予定している。

同社は、建設用草刈りアタッチメント「でえれえ刈れる力」や、工事現場等での掘削や積込、解体作業に有効なアタッチメント「でえれえアゴ」など、現場ニーズに応じた各種アタッチメントを展開し、実績を重ねてきた。



YS GRAPPLE使用の様子

